



・発行者・
京都障害者
スポーツ振興会

題字 芝田 徳造

つどい450スポーツコンテスト優秀賞
「楽しんでもらってますか？」

河嶋 智子

「楽しんでもらってますか？」私が最初に「つどい」に参加した時、声をかけてくださったのが辻井代表でした。家からさほど遠くない府立体育館で「障害者スポーツのつどい」が行われていると知ったのは行政の広報誌でした。「近いし、日曜日の午後だし一度のぞいてみようか」と相談して家族で行ってみました。

行くまではどんな雰囲気なのか想像もつきませんでした。暗い感じだったらどうしようと思ったりもしました。ところが受付で「こんにちは！初めてですか？」と尋ねてくださった係りの方が明るいので「安心しました。そして中に入ると笑顔や笑い声があちこちからはじけています。「なにこれ？とても楽しそう」私も子どもも良くない予想を裏切られ、良い現実を目の当たりにして嬉しくなりました。とは言え、どのスポーツにどうやって参加していったらいいかわかりません。キョロキョロと辺りを見回していると辻井代表が声をかけてくださるので、おそらく今日初めて

に参加しているのわかつて気にかけてくださったのだと思います。「はい。」まだ何の競技にも参加していないのに咄嗟にそう答えていました。「そうですか。いろんなスポーツを気軽に楽しんでもらったらいいですよ。ちょっとでも興味があつたらどれでも参加してみてください。」辻井代表にそう言われ、まずは車イスハンドボールに行ってみました。初めてでしたがやってみると楽しいのです。子どもも車イスを上手に動かしながらボールをパスしています。「おっ、なかなか上手いな」と伊崎さんからほめられチームの一員となりました。それからです。ほぼ毎月参加するようになったのは、楽しいからやめられなくなっただけで、成長と共にトランプリン、ライフル射撃、バドミントン、卓球・・・といろんな種目に挑戦しています。私も無理なくスポーツを楽しめるので安心して参加しています。つどいでは「それはできないからダメ」とか「あなたには無理」あるいは

「これをやりなさい」というような否定的な言葉や強制的な言い方を聞いたことがありません。そこが一番安心してスポーツを楽しめるゆえんとなっています。そうこうするうちに思いがけない再開もありました。つどいに参加する何年前か前に福祉の職場実習でお世話になった施設のメンバーと偶然出会ったのです。たまたま私が実習で配属された知的障害者通所授産施設に通うOさんの顔を見かけたのです。「Oさん！」私が思わず声をかけると「ともちゃん。ともちゃんや。おぼえてる。いっしょに嵐山いったなあ。」と実習中に遠足で行った時のことを話してくださいました。「覚えててくれたん？！私はずれしくなってます。」私はずれしくなってます。握手してしまいました。そういえば「昨日はつどいに行ってきた。風船パレードきた。」と月曜日ににこと報告しておられました。「あー、このことだったのか」とわかると余計にうれしくなりました。ひとしきり思い出話をして「来月もまた来る？」とOさんは尋ねてくれました。「もちろん」私がそう答えるとOさんは「それなら指きりしよう」と言っつて男性にしては長くてすらつとした指を差し出されました。「ゆびきりげんまん、うそついたらダメよ」2人で約束して笑い合いました。つどいに参加して私は毎月一カ月分の元気をもらっています。子育てで悩んだと

きに相談に乗ってくださいましたのはトランプリンの岩谷さんです。いつも明るい笑顔で迎えてくださる受付のお姉さんに子どもはなついています。ライフル射撃の鍛示さんはブラックキューモアたつぷりで笑わせてくださいますし、車イスハンドボールは家族が夢中になつています。私も伊崎さんの公平かつウイットに富んだ審判とプレーが好きでよく観戦もしています。こんな風に「障害者スポーツのつどい」は私や家族にとって大切な場となつています。スポーツを通じて多くの人と交流し、スポーツを越えている人々と語り合い、私の気持ちは支えられています。最初にポツンとたたずんでいた私たちです。今思い起こすと少しなつかしくセンチメンタルな気持ちになります。

行事予定	7月	13(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	来月の つどいは 8 / 8 第2日曜日
		18(日)	第30回全京都障害者総合スポーツ大会 卓球大会	京都市障害者スポーツセンター	
		25(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
	8月	1(日)	乙訓障害者スポーツのつどい	大山崎町体育館	
京都障害者スポーツ振興会ホームページ				TEL/FAX075-712-7010	
http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/ (2010年6月16日に一部更新)					

ます。450回おめでとうござい
てみます。これからもずっと続
いてください。みなさんに力を
ふり注いでください。

(連載) スポ振ルネサンス 28

「心でつなぐ活動を」
京都障害者スポーツ振興会
副会長 水谷 裕

今月、「障害者スポーツのつどい」は、四五〇回という大きな節目を迎えることができました。

振興会発足時の会合で、設立14団体のひとつ、「障害者(児)父母の会」の代表から、「障害のある子ども達が養護学校を卒業してからスポーツなど体を動かせる場がないので、スポーツを通してつどいという場が欲しい」との要望が出されてから間もなくの昭和47年3月、建てられて1年も経たない京都府立体育館との共催で、「心身障害者(児)スポーツ教室」としてスタートしました。が、「スポーツ教室」というのは固い。ということでも二回目以降「心身障害者(児)スポーツのつどい」と名称を変更して継続されることになり、さらに数年後「障害者スポーツのつどい」に変更され、開催し続けられて、現在の「つどい」へと繋がって今日を迎えました。この間の参加者

数は、延べで約5万数千人を得ています。

時の経つのは「光陰矢の如し」というとおり速いもので、第一回を開催してから三八年四カ月、月数にして実に四六一カ月を数えます。(注、経過した月数と、つどいの開催回数が一致しないのは、改修工事等で使えなかったため)

これは全国的に見ても他に類を見ない、真似をすることができない、どこに向いても胸を張れる事業といえるものです。

現在では、京都府立体育館の「障害者スポーツのつどい」は、京都府内5ヶ所へと広がり、開催されています。ちなみに、8月にはサンアピリティーズ城陽の「城陽障害者スポーツのつどい」も三〇〇回を、また、11月には丹波自然運動公園の「丹波障害者スポーツのつどい」も二七〇回を迎えます。

「障害者スポーツのつどい」は、昭和46年11月に、京都における障害のある人々のスポーツ活動の支援組織として「全京都心身障害者スポーツ振興連絡

協議会(現京都障害者スポーツ振興会)が発足して以来、ずっと、振興会活動の基本活動方針としてきた2本柱のひとつである、すべての障害のある人がスポーツをすることをとおりして、楽しみや喜びを得てもらえる環境を整備していくという「スポーツの輪を広げる活動」を実践する場として、大きな役割と成果を挙げてきました。

何よりも、大きな成果は大なり小なりの差はあるにしても、府内の各地域に「障害者スポーツのつどい」という「場」が確保され、障害のある人々にスポーツ活動にチャレンジしてもらえようになり、徐々に拡がりを見せてきています。

これらは、「場」を提供し、共催という形で「障害者スポーツのつどい」を支えてくださった京都府立体育館をはじめとする各施設の皆さんには、敬意と感謝の念に堪えません。

さらには、振興会活動の基盤事業である「障害者スポーツのつどい」に、その一員として活動に関わってきていただいた多くの

ボランティアの人々の地道な力の結集と積み重ねによって支えられて来るとともに、その節目、節目において記念のつどいを催すことにより、古い参加者・スタッフ等の呼び戻しや新しい人々の呼び込みを行いつつ、反省を前提に、様々な困難に対峙しながらも、次へと繋ぐ活動をしてきた結果、今日の「つどい四五〇」を迎えられたのだと思います、つどいを引き継いで続けて来られたスタッフの皆さんと、ずっと「障害者スポーツのつどい」を愛し、毎回のように参加し続けていただいていた障害のある人々やその家族・友人の皆さんに感謝すると同時に、これから、つどい参加者・スタッフの全員参加で、更なる進化を目指して欲しいと思っています。



第30回京都障害者総合スポーツ大会卓球バレー決勝トーナメント入賞チーム
平成22年6月20日(日)
京都府立体育館

一般
優勝 京田辺キララ(京田辺市)
2位 京田辺ウララ(京田辺市)
3位 八幡A(八幡市)

施設
優勝 西陣工房(京都市)
2位 山科ロビンス(京都市)
3位 洛南A(京都市)

学校
優勝 鳴滝の国アリス(京都市)
2位 イーストタイガース(京都市)
3位 美女と鳴滝(京都市)

特別表彰(20回以上出場チーム)
一般 京田辺市 京丹波町和知支部 京丹波町丹波支部 南丹市八木町 南丹市日吉町 宇治田原町

施設 あすなる 洛南授産所

つどい450
スポーツコンテスト入賞者
部(作文)
優秀賞 「楽しんでもらっていますか?」 河嶋智子

ナイススポーツ賞 「つどい450おめでとう」 野中祥吾

「全国障害者スポーツ大会に参加して」 飯田 良

部(絵・映像)
つどい未来賞 「卓球バレー」 湯浅 学

「つどい&避難訓練」 青木義忠